



学びの虹

東京都立鹿本学園 学校通信 令和6年6月25日号

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

手も口ほどに物を言う

6月1日(土) 駒沢オリンピック陸上競技場において、東京都障害者スポーツ大会が開催されました。本校からS部門(肢体不自由教育部門)の中高校生8名が出場。自分自身が設定する記録をクリアすることを目標として練習に励み、個々に手ごたえを感じた記録となりました。「他人より自分自身に向き合うこと」の大切さをこれからも学んでほしいと考えます。

さて、特別支援学校の校長は、各種目をローテーションしながら賞状のプレゼンターに徹します。私は、聴覚障害の陸上競技の1位をお祝いするときの手話を聴覚障害校の校長先生に教わりました。手話をするときには大事なものは、相手と目を合わすこと、そして手話は指先までしっかり伸ばし大きく表現すること。「目は口ほど物を言う」という慣用句はありますが、手も口ほどに物を言うこともあることを実感しました。称えるときは、競技スタッフ全員で両手を軽く上げて手をヒラヒラさせます。音はないのに、「おめでとう」の声に包まれたようでした。

拍手・声援ありがとうございました

盛大な拍手と声援があがったのは、体育発表会(体育的行事の授業参観)でした。子供たちの「頑張り」を保護者の皆様が称えることは、子供たちにとって「達成感」を味わったことと考えます。ありがとうございます。

行事が苦手な児童に対して、教員と友達が手をとって一緒に行こうと声を掛けたり、切り替えに時間がかかる生徒には、手をかえ品をかえ教員が接することで、後半の競技に参加したりとほほえましい場面も多かったです。

また、連絡帳を通して教職員への感謝やお褒めの言葉をいただいたことは、私達の励みになります。ありがたいことです。

お手本は先輩

6月13日(木) 都立白鷺特別支援学校の生徒が紺色のポロシャツとカーキ色のチノパン(知的高等部では、作業学習の際は統一した作業着があります)に身を包み、本校N部門(知的障害教育部門) 中学部3年生と一緒に「清掃」の授業を行いました。

白鷺特別支援学校の生徒の皆さんは、自在ボウキの使い方の手本を見せたり、自在ボウキの使い方がおぼつかない本校の生徒に手を貸したりと、先輩として立派な姿を示していただきました。

N部門中学部の皆さん、今は手を借りることが多いかもしれませんが、卒業し先輩として本校に戻り、後輩に対して手を貸していただければ嬉しいです。待っています。

猫の手も借りたい行事

最後にPTAの活動の話です。何度か話しておりますが、1日は24時間です。その時間の中でPTA活動に時間を割いて活動していただいている役員の皆様には、心から感謝します。

役員を引き受けていただいた保護者の皆様には、「活動は楽しいな」と思ってくださいるように学校は協力します。

一方、これまでの役員の皆様が頑張ってきた行事ですが、手伝っていただく保護者が少ない中で「行事を存続する」ことは難しいと考え、大きな行事(夏祭り)に絞ることは賛成です。

学校としては、行事が少なくなった分、外部団体が主体となる週末の行事を考えていきますので御理解いただければ幸いです。

★今回は、「手の慣用句」等、手にまつわる語句を意識しました。

鹿本学園校長 堀江 浩子

体育発表会について

S 中学部 BC 学習グループ

体育発表会では、保健体育の授業で練習してきた『駆け足体操』や『課題走』に取り組みました。

『駆け足体操』では、音楽に合わせて大きく腕を回したり、身体を伸ばしたりすることを意識して取り組みました。また、前列と後列で対称となるようにフォーメーションを組んだり、自分で決めたキメポーズをしたりして、ダンスのように取り組むことができました。

『課題走』では、電動カーを操作して進み、コース上の信号や踏切で停止・再発進という課題やスラローム走の課題、コーンにタッチしていきながら自走で進む課題、歩いて様々なボールをゴールに入れる課題など、日頃から頑張っていることを取り入れ、取り組みました。最初は失敗することもありましたが、練習を積み重ねることでタイムも縮まり、当日は完走することができました。

御家族の皆様方からは大きな御声援をいただき、練習の成果を十分に発揮することができました。ありがとうございました。

S部門中学部BC学習グループ 藤塚大輔

S 小学部5年生 A 学習グループ

体育発表会は、野球とフォークダンスをしました。野球は、ホームラン4点、3ベースヒット3点、2ベースヒット2点、ヒット1点、大谷ホームラン8点というルールで、赤チーム、青チームに分かれて対戦しました。子供たちは、日頃の練習の成果を十分に発揮し、バットや、手や足を使って、ヒットをたくさん打つことができました。「あともう少しで大谷ホームラン!!」という場面もあり、大声援の中、試合をすることができました。大接戦の末、今回は、24対25で、赤チームが勝利しました。野球をした後は、赤青全員で、オクラホマミクサーの曲にあわせてダンスをしました。みんなニコニコしながら、友達を追いかけたり、手を合わせたりして、楽しく踊ることができました。大勢の御参観ありがとうございました。

S部門小学部5年生A学習グループ 川崎満寿男

N 小学部5年生

5月25日(土)にN部門小学部5年生の体育発表会が行われ、「ラジオ体操」「徒競走」「台風の目」「ダンス」の4種目を実施しました。ラジオ体操では、腕をしっかり伸ばすなどのポイントを練習の段階から意識して、本番でも身体を大きく動かすことができていました。徒競走では、一番になりたい!勝ちたい!という気持ちを全面に出して、一生懸命に走る姿が印象的でした。自分の出番ではないときも、友達に対して「がんばれ~!」と温かい声援を送っていました。台風の目は、練習を重ねる度に先生や友達と息が合い、スピードも上がるようになりました。ダンスは、Choo Choo TRAINを元気よく踊りました。みんな大好きになったようで、教室でも踊る子供たちが多かったです。本番だけではなく、普段の体育の授業も楽しくかつ真剣に頑張る姿が素晴らしかったです。たくさんの御参観と子供たちに向けての温かい御応援をありがとうございました。

N部門小学部5年生 澤田耕平

N 中学部2年生

天候に恵まれ、絶好の体育発表会日和となりました。全員で制作して設置した、万国旗と応援幕が心地よい風になびいていました。笛の合図に足並みを揃えた「選手入場」から始まり、「はじめのあいさつ」「選手宣誓」「ラジオ体操」と、中学部の上級生らしい姿勢で臨むことができました。「徒競走」では、スタートからゴールまで目が離せないレース展開に、グラウンドの熱気が高まります。また、今年度は「友達を応援しよう」という目標を加え、拍手や声を掛けたり、応援グッズを鳴らしたりしてレースを盛り上げました。続く「デカパンリレー」では、2人1組で巨大パンツを履き、ペアと協力しながら障害物を乗り越えました。最後の「演技種目」OLA!!では、サンバの衣装や手作りマラカスを持って、大きく元気よくダンスを踊ることができました。発表会を終え、教室に戻る生徒たちから「あぁ楽しかった～」という声が聞こえてきました。自分たちの発表会を自分たちで創り上げたからこそ出た言葉なのだと思います。たくさんの御参観ありがとうございました。

N 部門中学部2年生 上村哲也

